

高く 広く 強く 豊かに



学校だより



2025（令和7）年 12月16日

伊賀市立阿山中学校

No.10 伊賀市千貝 10 番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

2学期後半は、文化祭をはじめとする総合学習のまとめや、人権学習、2年生社会見学、3年生進路説明会など、節目となる行事や活動に取り組んできました。こどもたちは、出会いや経験を積むことで、それぞれの成長を見せてくれました。期末テストが終わり、今学期も締めくくりの時期を迎えています。

PTA研修部のみなさまありがとうございました！

12/9 ～大人とともに考える全校人権集会～

PTA研修部員さんを中心に保護者の皆さまや地域の方々にも参加いただいて、「人権について自分事とするために、「大人とともに考える全校人権集会」をおこないました。



はじめの全体会では、「部落問題を考える中学生の集い」に参加した6人の生徒による還流報告がありました。

「人とつながることの大切さ」「差別をなくそうとする姿勢だけで救われる人がある」「自分の理解を正しく伝えていくことは、部落差別をなくし



ていくことにつながる」「差別をなくすためには、自分のできる小さいことから少しずつ取り組んでいけば、変わっていく」など、それぞれが自分の思いを伝えました。その後、人権サークルのメンバーからの説明で、グループ討議の「みんながアドバイザー」のテーマ①「差別につながる言葉」、テーマ②「障がい者差別」とテーマ③の「部落問題を解決するため」について話し合うことを確認しました。分散会では、全学年が14のグループに分かれ、それぞれのグループに保護者・地域の方々にも入っていただき、3年生のリーダーが司会を担い話し合いを進めました。

終わりの全体会では、グループ交流の報告が3つのグループからあり、最後に、ヒューマンライツ阿山の園浦さんから感想をいただきました。特に、「こういった毎年開催される全校人権集会や各学年で取り組んでいる人権学習などの継続した営みが差別をなくしていくことにつながっていく」という言葉をいただきました。



～生徒感想より～

- グループワークでは、学年で考えたことをまとめて伝えることができた。「ことば」は意味を知ったうえで話そうと思った。クラスでは安心して過ごせる環境づくりをすることが大切だと思った。学年関係なくみんなで考えられて良かったです。
- この人権集会を通して、自分の思いを伝える大切さと、これまで習ってきた人権学習がなかったら今の自分の考えとか思いはみんなに伝えられないと思うし、みんなで考えたり、悩んだりして考えられたのは良かったなと思えた。
- 差別につながる言葉とか障害者差別解消法などの法律があることを知っている自分たちが、差別をしている人や身近な人にも伝えていくべきだと思った。こういう話し合いの場に参加するという小さなことでも差別をなくせる一歩になるかもしれないから、これからも続けていきたい。

○自分は司会だったから、自分の意見を伝えないとまらないし、話し合いもできなくなるから、意見を言ってくれた人には、しっかりとコメントを返して話し合いをすることができた。自分事のように考えて意見を言うことができた。いざ考えてみると難しかったり、考えがまとまらなかったりしたけど、話し合って「なるほど!」と思うことも多かったし、大人の人の話を聞いて新しい考え方が生まれたりして、なんだかんだ楽しかったです。

<ご参加いただいた大人の方々からの感想の一部を紹介します>

- ◇ 中学生の子たちが自分で考え、意見を交わしている姿に、小学生では見なかった姿を見ることができ、うれしく感じました。ケース別に考える中で、すぐに解決がむずかしい大きな課題もありますが、この会のように話し続けること、学び合うことが大切だと感じました。
- ◇ 中学生という「自分が何者なのか」と悩みを持つ年代において、こうして継続的に人権について、生徒同士が語り合う場を持たれていることに敬意を表します。簡単に答えが出ない問題ですが、だからこそ、この年代にはとても必要なことだとも思います。一人ひとりが言葉をしぼり出すという健全な姿が印象的でした。
- ◇ 子どもたちと話す時間は少でしたが、今、子どもたちがどう考えているか、どう動こうとしているか、よく伝わる会だったと思いました。正しく学んできた自分が正しいことを伝える勇気はとても大切であり、今日のような人権集会を開催し続けていく姿勢が差別をなくしていく大事な一歩だと考えます。
- ◇ グループ全体が積極的に意見を出していてよかったです。人権集会で出た意見が実生活でただ実践できるかは未知数ですが、少しでも前進するには、一人ひとりが思いやりをもった行動をすることが大事だと思いました。
- ◇ 自分が中学生の時よりも、今の生徒はしっかりしていて、きちんと自分の意見を伝えてくれていました。自分の意見を伝えるのが恥ずかしい子は同じクラスの子に頼ったり、クラスが違ったりしても、意見の言えない子を責めず待つ。こうやってお互いのことを認め合っているのがすごくいいなと思いました。園浦さんのおっしゃる通り、年に1度でもおこなうことで、習慣化し、身につく、差別はだめと思っていける阿山の子がたくさん育ちますように。



わたしたち一人ひとりが部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、今できることを考え合い交流する有意義な時間となりました。ご参加いただきました保護者の皆さま、地域の皆さま本当にありがとうございました。

12/13 ~阿山中学校区学校支援地域本部事業~

本校の学校支援地域本部事業として、草刈りや排水溝の泥上げなどの環境整備を阿山中学校区内にご案内し、協力をお願いをしたところ、23人の方々に集まっていただき、実施をしました。天候がかなり心配されましたが、絶好の作業日和となり、午前中の1時間半にわたり作業いただきました。



ふだんなかなかできないところを作業いただき、大変美しく仕上げていただきました。

2学期の締めくくりにあたり、参加者のみなさまにはご協力をいただきありがとうございました。

た。今後ともよろしくお願いいたします。

